

氷・温水ダブル蓄熱システムによる麺のゆで加工・冷却

この工場では、麺類を製造販売しており、新製造プロセスに氷・温水ダブル蓄熱システムを採用しました。

氷・温水ダブル蓄熱システム採用により契約電力の上昇を抑制することができ、さらに産業用蓄熱調整契約に加入することで、電力コスト低減が図られました。あわせて、安定した冷水の供給により高品質のゆで麺の製造が可能になりました。

また、ゆで加工工程への給水に蓄熱温水を利用することで、ランニングコストの低減に加えて、朝の立ち上がりがスムーズになり、作業能率の向上が図られました。

改善効果

- 産業用蓄熱調整契約割引額
約16万円/年

設備概要

- 冷凍機: 7.5kW×2台
- その他: 3.9kW
- 氷蓄熱槽: 4.1 m³×1基
- 温水蓄熱槽: 11.0 m³×1基

システム図

